

作新が初戦突破



初戦に快勝し、笑顔でアルプススタンドにあいさつに向かう作新ナイン

全 国 高 校 野 球

福井商に

11

1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
作 新	6	1	0	0	3	0	0	1	0	11
福 井 商	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

県勢4年ぶり夏の1勝

第93回全国高校野球選手権大会第3日は8日、阪神甲子園球場で行われ、本県代表の作新(2年ぶり7度目)は第1試合で福井商(2年連続21度目)と対戦、11-1で快勝し、県勢として4年ぶり、同校としては38年ぶりの夏の甲子園1勝を飾った。

作新が強烈な先制パンチを浴びせた。初回、板崎直人が中前打で出塁すると、3番の佐藤竜一郎が右翼席に2点本塁打をたたき込み先制。内藤諒太の左中間二塁打で3点目を挙げた。さらに満塁とし、大谷樹弘が中犠飛、高嶋翔馬が左前適時打を放ち、打者10人の猛攻で6点を奪った。

二回には板崎、飯野徹也の二塁打で7点目。その裏の守りでは二塁手の板崎、遊撃手の佐藤の好守で試合の流れを完全につかんだ。五回には、2死から高嶋

石井一成の連続二塁打で3点を追加。八回に佐藤の中前適時打でダメを押した。先発の大谷は立ち上がりはストライクとボールがはつきりしていたが、尻上がりに復調。威力のあるストリートにスライダーを効果的に織り交ぜ、福井商打線を抑えた。守備陣も無失策で盛り立てた。

作新は13日の第3試合(午後1時開始予定)の2回戦で、古川工(宮城、初出場)―唐津商(佐賀、27年ぶり4度目)の勝者と対戦する。

次戦も挑戦者

作新・小針崇宏監督 初回から狙い球を絞って迷いなく振ってくれた。バッテリー中心にノミミスで守れたこともよかった。次もチャレンジジャーとして積極的に戦う。

福井商・米丸友樹監督 山本(文矢)の立ち上がりがか心配だったが甘い球を打たれた。1点ずつ返そうと話したが、大谷(樹弘)君に思うように打たせてもらえなかった。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座00350-0-407
©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179
(受付・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売局 028-625-1120
広告局 028-625-1133
事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

栃木のニュースを携帯でも!!



下野新聞 検索